

KISTEC Bio Open Lab.

利用規則

地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所

2026 年 9 月 1 日 ver. 3

目次

1. 総則	2
1.1. 設立趣旨	2
1.2. 施設概要	3
1.3. 実施できる実験の範囲	4
1.4. 利用形態	5
1.5. 注意事項	7
2. 利用上のルール	8
2.1. 基本事項	8
2.2. 消耗品・薬品・サンプル・機器等の使用、持ち込み、管理方法	9
2.2.1. 持ち込み・調達方法	9
2.2.2. 保管場所	10
2.2.3. 薬品の管理	10
2.2.4. 高圧ガス、液体窒素の管理	11
2.3. 実験器具、保護具	11
2.4. 研究機器の利用	11
2.5. ごみ、廃液について	12

1. 総則

1.1. 設立趣旨

地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所（KISTEC）は、企業支援ネットワークの中心的機関として、豊かで質の高い県民生活の実現と地域経済の発展に貢献する公設試験研究機関（公設試）です。殿町支所では、神奈川県の政策に則り、再生・細胞医療の

産業化を目指した取り組みを行っています。

「KISTEC Bio Open Lab.」は、世界最高水準の研究開発から新産業を創出するオープンイノベーション拠点であるキングスカイフロントにおいて、新規創薬モダリティ等の開発に取り組む企業への技術開発支援を通じて社会実装の加速に資することを目的に設立されました。各社が個別に整備するにはコスト負担が大きい研究設備や機能を安価にご利用いただくことができます。更に、KISTEC 職員による機器利用者への技術指導や、再生・細胞医療における品質評価法等の開発を通じた技術支援等、総合的な技術支援の提供を特徴としています。

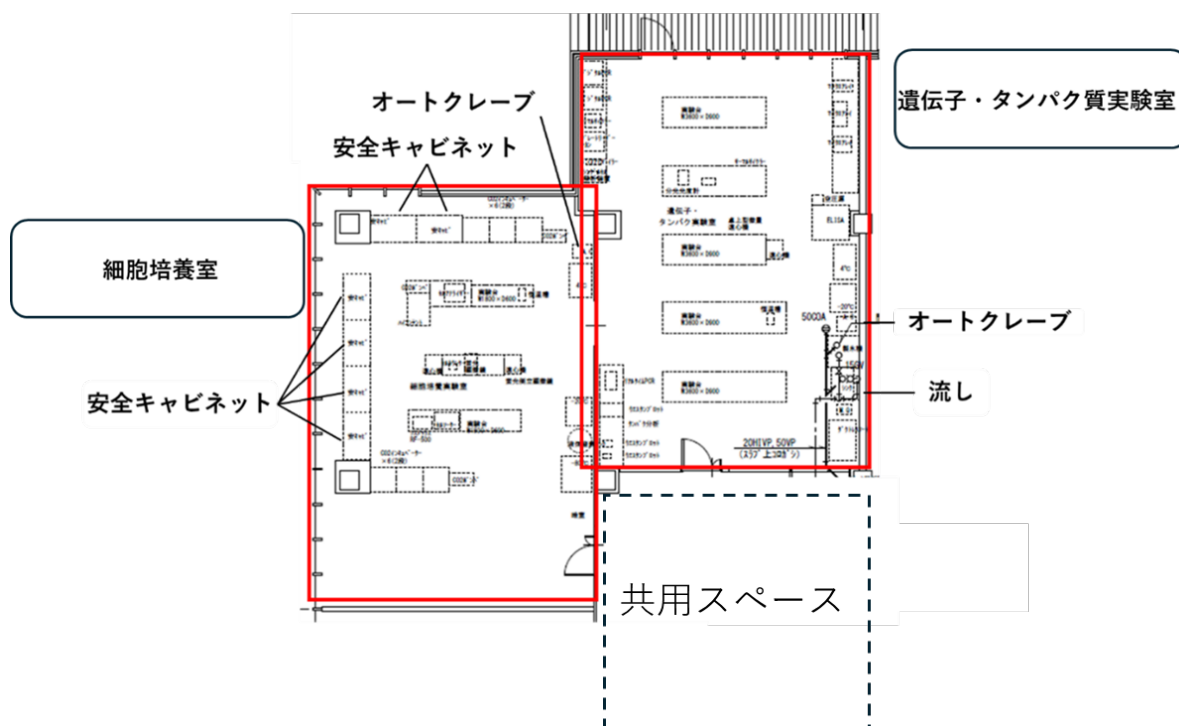
※本施設は厚生労働省「創薬クラスターキャンパス整備事業」の支援を受けて設立されました。

1.2. 施設概要

名称 : KISTEC Bio Open Lab.
所在地 : 神奈川県川崎市川崎区殿町三丁目 25-10
Research Gate Building TONOMACHI 2 棟 3 階
慶應義塾大学殿町タウンキャンパス内
管理・運営 : 地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所
問い合わせ先 : KISTEC Bio Open Lab. 事務室
TEL : 044-280-1181
E-MAIL : sm-bio.openlab@kistec.jp

1.3. 実施できる実験の範囲

※ P2、BSL 2 レベル対応



図：本施設の実験区分

KISTEC Bio Open Lab.（オープンラボ）は、KISTEC が認めた実験計画に基づいた実験を行う場所であり、かつ飲食や人体に使うものの製造、登録衛生検査場に相当する業務、外販を目的とした試薬などの製造などの実施を認めていません。

・ 遺伝子組換え実験（P1、P2 レベル）

「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」、その関連する省令、告示及び関係法令・通達等に規定される組換え実験実施体制を、事前に自社内等で自己の責任と費用負担の下、整備してください。また、利用申請書に承認済みの計画書の写しを添付してください。

同実験に従事できる利用者は、WHO の実験室バイオセーフティ指針を熟知した十分に実験経験のある者としてします。

※ウイルスベクター等を使用する場合は、指定の安全キャビネットをご利用ください。

・病原体等の取扱い（BSL1、BSL2 レベル）

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」、「家畜伝染病予防法」及び WHO 実験室バイオセーフティ指針に基づいた実施体制を、事前に自社内等で自己の責任と費用負担の下、整備してください。また、病原体の持ち込みについては事前にご相談のうえ、利用申請書に承認済みの計画書の写しを添付してください。同実験に従事できる利用者は、WHO の実験室バイオセーフティ指針を熟知した十分に実験経験のある者となります。

・ヒトまたは動物由来試料（血液、細胞等）の使用

病原体の保有が明確でないヒト検体は原則として BSL2（バイオセーフティレベル 2）として取り扱います。

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」及び厚生労働省、文部科学省の動物実験等に係る基本指針に規定される審査や従事者への教育等を事前に自社内等で行い、利用申請書に承認済みの計画書の写しを添付してください。

また廃棄物の取扱いについて別途指定しますので、実験開始前にお問合せください。

《実施不可の実験》

・感染症法に定める特定病原体等、BSL3、4 の病原体等および特定病原体等の含有が明らか、又は含有している可能性があるヒト試料等の所持取り扱い

・ P3 レベル以上の実験

・ 動物実験

1.4. 利用形態

① 月額利用：1 か月以上の長期利用

以下の利用料金にてご利用いただけます（閉室日を除く）。

表 1 料金表

	項目	利用料（月額・税込）
1	基本利用料金 （2 名まで）	220,000 円

	(3名以上、1人毎)	110,000 円
2	CO ₂ インキュベーター占有料金 (1 台)	39,490 円
3	フリーザー (-20℃) 占有料金 (1 区画)	2,090 円
4	超低温フリーザー (-80℃) 占有料金 (1 区画)	4,840 円
5	薬用冷蔵ショーケース占有料金 (1 区画)	3,080 円
6	LN ₂ 凍結保存容器 (1 区画)	4,510 円

※利用料は消費税及び地方消費税（以下「消費税等」という。）を含みます。

※2～6については、占有を希望される場合に発生します。台数、容量に限りがありますので希望する場合はお問合せください。

＜基本利用料金に含まれるもの＞

- ・汎用消耗品使用料（対象は2.2.1①参照）
- ・共用実験器具使用料（2.3①参照）
- ・無線 LAN ネットワークの使用料
- ・産業廃棄物処理費用
- ・消耗品、薬品、サンプル等保管スペース（消耗品用棚、常温キャビネット、冷蔵庫・冷凍庫（上記表の3～5）内の共用スペース）
- ・共用機器の使用（対象は別添1①の機器）

＜基本利用料金に含まれないもの＞

- ・上記表の2～6の占有料金（オプション利用料金）
- ・共用機器のうち、有料機器（別添2②）の使用料金（共用機器利用料金）

② ビジター利用：1か月未満の短期利用

希望者は別途お問合せください。

③ 請求方法

当月分の基本利用料金・オプション利用料金・共用機器利用料金にかかる請求書を翌月末までに利用申請書記載の請求書送付先に送付します。受領後2カ月以内にお支払いをお願いします。

1.5. 注意事項

- ・ 本施設の利用時には本利用規則の内容を遵守し、不明な点があれば KISTEC Bio Open Lab.事務室（以下「事務室」）までお問合せください。

- ・ 本施設内での火気使用は固くお断りします。

- ・ 退室時には使用していた実験台、装置周辺を片付けて私物の長期間放置は避けてください。

- ・ 持ち込んだ物品等の管理は各利用者様にお願いします。本施設内での盗難・紛失・破損については責任を負いかねます。

- ・ 本施設は、Research Gate Building TONOMACHI 2（RGBT2）棟内の慶應義塾大学殿町タウンキャンパス内に入居しております。棟内の他の入居者、同キャンパスの他の研究室利用者の迷惑にならないよう、節度を持った行動をお願いします。

- ・ オープンラボ内は飲食禁止です。共用スペースでは可能ですが、慶應義塾大学殿町タウンキャンパスの他の利用者との共用のため、長時間の占有は避け使用後の片付けの徹底をお願いします。

- ・ 本施設内での写真撮影は原則禁止ですが、実験記録等のための手元の撮影は可能とします。撮影の際は、他の利用者等の映り込みが無いようにご注意ください。

2. 利用上のルール

2.1. 基本事項

① 開室時間、閉室日

開室日、開室時間は平日の 9:00～17:00 です。

自社の責任の下、安全に留意して実験を行ってください。また土日祝日に使用する場合は、事前に事務室に申請の上、培地交換やデータ解析等の簡易な作業のみとするようにしてください。申請方法については別途お問合せください。

年末年始（12/29～1/3）及び建物の全館休日は完全閉室になります。

② 開錠/施錠について

- ・ 入口は常時施錠とします。利用開始時に利用登録者毎に開錠キーを発行しますので、個人ごとに管理し他者（自社の他の従業員の方を含む）には開示しないようにしてください。
- ・ 利用登録者以外の方が見学等を目的に立ち入りを希望する場合には、事務室にご相談ください。

③ 照明電源・空調

- ・ 17:00 以降の最終退出者は電灯を OFF にしてください。
- ・ 空調は常時 ON とします。

④ 非常時の対応について（火災、地震等災害、実験上の事故について）

- ・ 利用開始時には、非常口、避難経路、火災報知器、消火器等の位置の確認をお願いします。
- ・ 非常時において防災及び安全確保のために必要となった場合は、利用者に関する情報（個人名、連絡先、所属等）を下記に提供しますのでご了承ください。

大和ハウスプロパティマネジメント株式会社と同社の指定業者（建物管理者）

慶應義塾大学殿町タウンキャンパス事務室

- ・ 有事の際は、下記に連絡を入れてください。

①事務室（不在時は KISTEC 殿町支所 044-280-1181 または溝の口支所 044-819-2030）

②RGBT2 1 階管理事務所

- ア RGBT2 管理事務所 044-280-2160
- イ RGBT3 管理事務所 044-277-1108
- ウ RGBT2 共用携帯 080-7884-1083
- エ RGBT3 共用携帯 080-7009-8245

※ アが優先、繋がらない場合は、順次イ、ウ、エに架電してください。

③慶應義塾大学殿町タウンキャンパス事務局（044-201-7466）

2.2. 消耗品・薬品・サンプル・機器等の使用、持ち込み、管理方法

2.2.1. 持ち込み・調達方法

①汎用消耗品・薬品（共用消耗品）

以下の消耗品については、オープンラボ内共用備品として整備しております。

表 2 オープンラボ内共用消耗品

キムタオル	70%エタノール（洗浄用）
キムワイプ	オートクレープバッグ
ペーパーハンドタオル	

②自社で調達して持ち込む場合

- ・持参、宅配便による配送

自社でオープンラボ（平日 9:00～17:00）宛に配送、お受け取りをお願いします。

- ・販売代理店を通じた調達

自社でオープンラボ（平日 9:00～17:00）宛に調達、お受け取りをお願いします。

③機器等の持ち込みについて

重量物や大型装置の持ち込みはご遠慮ください。消耗品用棚の占有スペースに保管できる大きさのものに限り、持ち込んで使用いただけます。詳しくはお問い合わせください。

2.2.2. 保管場所

①消耗品（オープンラボ内共用消耗品、薬品を除く）

細胞培養室の自社の消耗品用棚の占有スペースの指定場所に、自社名を明記し保管してください。貴重品等の保管は避けてください。

②薬品（毒劇物を除く）

細胞培養室の共用薬品棚に、自社名をつけた薬品トレーの中に入れて保管してください。

③薬品（毒劇物）

細胞培養室の共用薬品棚（鍵付き・毒劇物用）に、自社名をつけた薬品トレーの中に入れて保管してください。鍵は事務室にて保管していますので、毒劇物を使用する際は事務室開室時間中（平日 9:00～17:00）に鍵の受け取り・返却を行ってください。事務室閉室中は毒劇物の使用はできません。

④冷蔵・冷凍品

冷蔵庫・冷凍庫（表 1 の 3～5）の指定場所に、自社名をつけたトレーの中に入れて保管してください。保管量が一定を超える場合には、占有料金をいただきます。（1.4 利用形態①の表 1）

※各保管場所にて持ち主不明の物品・サンプル等が発見された場合は、事務室より各利用者に周知の上、持ち主が現れなかった場合には一定期間経過後に廃棄します。

2.2.3. 薬品の管理

薬品棚に保管する薬品については、KISTEC の薬品管理システムへの登録が必要です。持ち込み時に事務室へ持参し、登録を受けてください。バーコードの発行を行います。また、使い終わって廃棄する際にも廃棄の登録を行いますので事務室へ持参してください。

毒劇物については事前に持ち込みの可否を事務室に確認の上、持ち込むようにしてください。

2.2.4. 高圧ガス、液体窒素の管理

・CO₂ インキュベーター用の炭酸ガス、LN₂ 凍結保存容器用の液体窒素の調達、管理は事務室にて行います。残量が少ないことが判明した際には、事務室にお知らせください。

・

2.3. 実験器具、保護具

1 実験器具

一部の実験器具については、オープンラボ内備品（共用実験器具）として整備しておりご利用可能です。詳しくはお問い合わせください。

② 保護具

・白衣、靴、保護メガネ等の必要な保護具については各社でご準備ください。1 社ごとにロッカーを貸与しますので、そちらに保管をお願いします。

・実験室内では適切な保護具着用をお願いします。

例

オープンラボ内：白衣、グローブなどを着用

毒劇物使用時：ドラフトを使用し、白衣、グローブ、保護メガネなどを着用

液体窒素使用時：白衣・専用グローブ・保護メガネ

2.4. 研究機器の利用

(1) 利用上の注意

・研究機器の利用におけるサンプルの汚染・紛失については、KISTEC および他利用者は一切の責任を負いません。

・機器の使用方法について不明点や不安な点があれば KISTEC 職員にお声がけください。

・使用記録簿の置かれている装置については記載をお願いします。

・使用者による機器の故障が生じた場合、または予見された場合は、事務室にお知らせください。

(2) 機器一覧

オープンラボに設置されている機器は別添 1 の通りです。

・表 4 の有料の機器については、用記録簿から使用状況を確認し、当月分の使用料金を翌月発行の請求書にて請求します。

2.5. ごみ、廃液について

① 廃液

・申請時に提出いただく実験計画書にて、廃液の内容を確認します。新たな薬品等の廃棄が生じる際には実験開始までに事務室にお知らせください。

・廃液全てが回収対象です。廃液の種類ごとにポリタンクまたは瓶で回収します。適当に混合廃液として混ぜたり、流しに排出したりする事は避けてください。オープンラボを初めてのご利用時に排出場所については事務室よりご案内します。

※ポリタンクの耐熱温度は 60℃程度なのでオートクレーブ後の廃液はしっかり冷やしてからポリタンクに移すようにお願いします。

② 不要になった試薬

・各社で適切な処理を実施し処分してください。

・毒物・劇物については、事務室にご相談ください。流しやごみ箱にそのまま捨てるのは避けてください。

③ 実験室内で発生したごみ

実験の際に発生した試薬等で汚染されていないごみは、オープンラボ内のゴミ箱に、燃えるごみ、燃えないごみ、ガラス、金属に分別の上廃棄してください。

感染性廃棄物が生じる場合は事前に事務室までお知らせください。

④ 実験室外で発生したごみ（飲料用びん、かん、ペットボトル等含む）

共用スペース内のごみ箱に廃棄をお願いします。

別添 1 オープンラボ内の研究機器一覧

① 共用機器

※付の機器は予約制です。

表 3 共用機器一覧

	装置名
1	安全キャビネット
2	CO ₂ インキュベーター
3	薬用冷蔵ショーケース
4	フリーザー (-20℃)
5	超低温フリーザー (-80℃)
6	オートクレーブ
7	ダクトレスヒュームキャビネット
8	純水装置
9	サーマルサイクラー (※)
10	プレートリーダー
11	微量分光光度計
12	バイオアナライザー (※)
13	セルカウンター
14	冷却遠心機
15	多目的冷却遠心機
16	微量高速冷却遠心機
17	卓上型微量遠心機
18	蛍光顕微鏡
19	倒立顕微鏡
20	恒温槽 (※)
21	LN ₂ 凍結保存容器

② 有料の共用機器

以下の装置は全て予約制です。

表 4 有料機器一覧

	装置名	メーカー	型式	利用料金
1	ハイコンテンツアナリシスシステム	Revvity	Operetta CLS	15,950 円 /1 時間あたり
2	リアルタイム PCR	ThermoFisher	QuantStudio 5	2,420 円 /1 時間あたり
3	シングルセル解析装置	10XGenomics	Chromium Controller	6,820 円 /1 時間あたり
4	マイクロアレイ装置	ThermoFisher	GeneChip System 3000 GeneChip Fluidics Station 450 GeneChip Hybridization Oven 645	8,580 円 /1 時間あたり
5	デジタル PCR	Bio-rad	QX200	6,930 円 /1 時間あたり
6	計算用サーバー	Amerieff		880 円 /1 時間あたり

※利用料は消費税等を含みます。

※各機器による計測等に係る消耗品は自社によるお持ち込みとなります。

※共用機器利用料金は月毎の利用時間を集計の上請求価格を決定します。